

# パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2025年1月1日 256号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

2024年もレダでは多くのプロジェクトをたゆみなく推進しました。皆様の篤いご支援に深く感謝いたします。



●第4次レダプロジェクト体験プログラム。2024年2月～3月



迎春  
2025 令和7年

●第3次レダプロジェクト体験プログラム。2024年1月～2月



●第11回パクー稚魚放流式を実行。6月5日



●米国発レダツアーの皆さんと。8月11日



●大豊作のアセロラ果実を収穫。10月17日



●韓総裁がジャルジン来訪：レダのスタッフを招待。7月8日



●レダのスタッフが総出でソン氏一行を歓迎。2024年6月29日

明けましておめでとうございます

昨年は皆様のご支援・ご協力、真にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

レダ開拓は、25年の歳月が過ぎ、26年目に入っています。長きにわたる先輩諸兄の皆様の血と汗と涙の精誠が積み重なり、それが若き世代へと引き継がれ、新たな道が開かれんとする時を迎えました。何といっても、昨年は創設者をパンタナール・ジャルジンにお迎えし、決意を新たにする時を持ち大きな力を得ました。

新しい年二〇二五年！天と地がかつてなく近く交わらんとする「時」を迎えました。あのパンタナール・レダの源焦的聖地のどく、天も地も一つになり、そこに足を踏み入れたるもの、心の底から湧き上がる感動と共に、創造主の愛を実感するひと時、そこがまさしく私たち一人一人の故郷であると感じるのです。創造の初めの原点に返ってきたのだと。そこから新たな家庭が誕生し、村となり、町となり、国となっていく。そして世界は永遠の平和へとつながっていく、そのような大きな一步を踏み出す時を迎えたのだと。

激動し混迷するこの世界と地球ではありますが、今新しい時代が始まろうとしています。パンタナール・レダの地に新たな希望の太陽が昇る時、人々の心に愛の光がともるでしょう。

新しい年、皆様のご家庭に愛が満ち、希望が溢れますように祈願申し上げつつ、本年もよろしくご支援ご協力お願いいたします。

二〇二五年元旦

一般社団法人 南北米福地開発協会

代表理事 中田欣宏



●最も大切な母魚の候補を慎重に吟味します。12月5日

●養殖池でパクーの人工孵化用の親魚を探し出します。12月5日



●日本からレダを訪れた高橋氏(青ポロシャツ)を囲んで楽しく語り合いました。11月26日

●レダ産パイナップル第1号を収穫。12月7日

アソシエーション事務局  
12月9日

●カナン牧場を訪れた高橋氏。



●島田家を訪問した大元氏(奥)と高橋氏。11月23日

●岩澤園長、佐野氏、高橋氏、中井氏。

レダ開拓26年目を歩んでいますが、読者の皆様からみて、レダの開拓は順調に見えていますか？ レダを外から見ても、パンタナールの大自然は美しく、発展途上の国パラグアイにおいて今に至るまで継続して歩んできた実績にばかり目がいき、差し迫る危機に気づかないかもしれません。そこで、レダ現地から見る、レダの問題と課題について記したいと思います。

今回は主に三つの問題について紹介したいと思います。

◆一つ目は、**人材不足**です。

詳しく述べると、数ヶ月から1年の単位で歩む人は定期的に来るようになりましたが、長期滞在者、並びに移住者がレダには不足しています。

必要としているのです！

◆二つ目の課題は**後方支援**のサポートが不足し始めていることです。このプロジェクトが始まったのも約25年前。当時は働きざかりの先輩の方々が、日本やアメリカから支えてくれました。しかし現在支援は難しくなってきています。そこでレダも自立経済に

向けて動いていますが、今すぐの自立は現実的ではありません。自立を目指すと同時に後方支援をしてくださる会員の皆様を増やしていくなければ、レダのプロジェクトも縮小せざるを得ない日が来るかもしれません。

◆三つ目は、二つ目の問題と関連しているのですが、設備や機械の**老朽化**です。例をあげると、絶え間なく修理が必要な浄水施設(よく水漏れが生じます)、購入してから20年以上も使用している車(日産パトロール)。もちろん何回も修理しています。ボートの船外機も現在使用できるのは1台のみ。一つ一つの機械を新しく買い替える余裕は今のレダにはありません。

今回は、レダのマイナス部分について見てきました。現実に向き合い、問題に正しく接すること、情熱をもつた次の世代がレダプロジェクトに同参し受け継いでいくことで、容易ではないこのような問題も解決していくことができる信じます。

※レダに滞在して3ヶ月半の私から見た視点ですので、見落としや他の重要問題があるかもしれません。ご了承ください。

# レダのパクーを売る

## 最高の品質を原点に 滝川哲盤



★自立経済を目指し、パクーの販売は2018年に岩澤園長がアスンシオンにおいて販売したことが先駆けとなりました。その後しばらくの間、販売は行なっていましたが、



レダからローマ・プラタまで約350km。私が赴任してからは2021年9月に初めて直接販売を始めました。販売の経験もなくハウも全く持ち合っていなかったので、どうやって販売すればよいのか模索状態でした。また、その当時ニニチャコ地方での販売は難しいだろうという雰囲気がどことなく漂っていましたが、やってみないと、という思いで販売に突き動かされました。

★スタートはじめの販売は岩澤園長とN氏との3人で冷凍販売を一軒一軒訪問して販売す

期で雨が続くと未舗装道路であるため、

えられない光景で、少し滑稽にも思えましたが、「ここから始めるんだ!」という気持ちが沸き上がっていたので私たちは気持していた青年たちの力もあり、近隣の市町村を中心に少しずつ販売を伸ばしていました。魚の養殖品の商標で販売したことを行なっていましたが、



パクー冷凍セミドレス



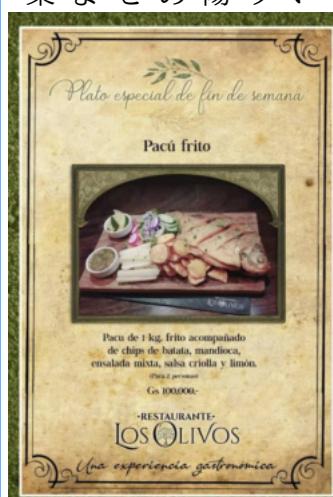
パクー冷凍セミドレス

22年には200kgを定期的に買ってくださるお客様に出会うことができました。



スーパーミングの広告

★スーパー・マーケットにも、そして2023年にはボケロン県の都市ローマ・プラタ、フィラデルフィアでの販売を開始し、2024年にはノイランドそしてマリスカル・エスティガリビアという街まで販売範囲を広め、スーパー・マーケットを中心徐々に販売数を増やしてきました。また嬉しいことに、あるレストランでは今年から日陽園のパクーが陳列されるのを見たときは、とても嬉しく感動的でした。



★難路を越えて、しかし、ニニチャコ地方での販売は決して簡単ではありません。雨の時期で、また始めることが

きつあります。

★高品質で差別化私たちのパクーの強みは何よりも品質です。日本の活々技術を実践することで、お客様からはレダのパクーは天然のパクーよりも断然おいしいと評価をいただいております。しかし、パラグアイの東部には競合となる大手の養殖業者が既にいくつが存在しており、ローマ・プラタの市場にもパクーの商品が出回っています。私たちはその競合者よりも圧倒的なクオリティを提供することで差別化を図らないといけないと思っています。そのため、水揚げから加工、冷凍に至るまで、細やかな気配りをしています。今の設備では限界もありますが、お客様にどうしたらより美味しい魚を提供できるかを追求しています。もしさうで手を抜けば事業の成功はないと思います。

★原点を忘れず、そして、買ってくださる方々に最高のものを召し上がっていただきたいという心がけを何よりも大切にしたいと思っています。

これは訪問販売を始めた頃、貧しい一軒屋の家族でしたが、決して安くはない1匹のパクーを買ってくださった時、子供たちと共に満面の笑みで喜んでいた姿を見たときに感じたことで、どんなに事業が大きくなつたとしてもこの原点を忘れてはいけない、その時にそう思いました。

レストランLos Olivosのメニューは、(次号では、今後の具体的展開プラン)

## 今年の目標

レダの電気屋さん  
第18回



新年あけましておめでとうございます。  
月日の経つのは早いもので、レダに来て3回目の正月を迎えました。昨年の原稿を見直してみたところ、「これからレダの20年を一緒に考える人材を見つけること。」と書いていました。驚いたことに、今年はそのような方々との出会いが増えました。

具体的に、私が何をしたわけではありませんが、神様が願いを叶えてくれるという思いでいっぱいです。実際にはレダのために動いてくださっている方々の精誠がたくさんあるということも理解しております。本当に感謝です。そして、感謝ついでに、更なるレダの発展の為に、新たな目標を宣言したいと思います。それは、「5年後のレダを描く」です。なぜ5年後かというと、5年後ぐらいだと実際にイメージしやすいからです。ですので、いろんな人の知恵が入った5年後の姿は実現できる可能

性が高くなるかもしれません。来年も5年後も、来年も5年計画ではあります。実現できそうな夢を語っているかも知れません。それで良いです。実現できそうな夢を見る方が楽しめますよね！



あけまして  
おめでとうございます

本年もよろしくお願ひします。

2025年1月1日

日陽電氣

(山崎茂章)

### LINE公式アカウント

## レダの日常・日本の非日常

レダのことをもっと知りたいあなたに！

レダプロジェクト LINE公式アカウント「レダの日常・日本の非日常」への友だち追加をお奨めします。

### ・レダ現地の様子、・現地プログラムの予定、

### ・イベントの告知、などが、素早く配信されます。

レダに滞在していなくても参加できるプログラムやイベントもたくさんあります。

最近の配信: ◆(moon heart eyes)エスペランサ支援 Gracias ONLINEイベント開催。◆レダプロジェクト長期インターンシップ チャパボラ募集



友だち追加は  
こちらから！

## 一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒182-0021

東京都調布市調布ヶ丘

2-15-1 ビリアベルデ 407

電話: 042-449-0183

支援金振込口座：ゆうちょ銀行  
記号10280 番号61349751  
一般社団法人 南北米福地開発協会

eメール: office@asd-nsa.com  
ホームページ: <https://asd-nsa.com>

パンフレット: 当会の紹介と入会申込書  
<https://asd-nsa.com/sk/>

### 禁漁期

パラグアイ川は、毎年11月1日から翌年1月31日まで禁漁期と定められています。同水系に棲息する魚類の大部分が、この時季に繁殖期を迎えるからです。

もちろん、パラグアイ側でも、ブラジル側でも、本流でも、支流でも、漁労は一切できません。沿岸の漁民は減収になるので、登録された漁民には国から補償金が支払われます。

### 養殖魚はOK

禁漁期間中、淡水魚を欲しい人は養殖魚を買うことになります。その多くは、ティラピア、パクーなどですが、チリではサーモン、ブラジルでは巨大魚ピラ

ルクーも養殖されています。

養殖魚か天然魚か不明の魚は、有償でも無償でも取引は違法となりますのでご注意。

密漁の取り締まりは、特にブラジル側において厳しく、武装ヘリによるパトロールもあります！

レダ産の養殖パクーを広く流通させ、パラグアイの人々に喜んでもらえるよう応援しましょう。



レダ工房：パクーの孵化、製品化をする。

### レダのショート動画

1. テグー(大トカゲ)…2024年11月20日
2. 白い蝶の乱舞……………同12月3日
3. 孵化用の親魚探し………同12月5日
4. 孵化用の母魚……………同12月5日

1



2



3



4



### パンタナル通信を 直接お届けします



パンタナル通信は当会の会報です。会員の皆様には毎月郵送でお届けしています。南米レダの活動現場から来る、その生の姿をご覧ください。入会申込書は左下のURL、右のQRコードから。

